



任命式

5月16日（金）に令和7年度の前期任命式を実施しました。これは、本校生徒会長が、各委員長（新学年委員長・専門委員会委員長）にそれぞれの活動に就くよう命じ、任命書を授与するといった儀式的な行事です。任命書の配付後に、各委員長からの決意表明がありました。本校の各代表として立派な態度とやる気の伝わる内容で、感心しながら聞いていました。

堂々とした態度で力説している委員長が多く驚きました。どれだけの準備をして、本番を迎えたのかと考えると頭が下がります。また、聞く態度も素晴らしく、先日の体育祭の大盛り上がりとは打って変わって、静粛な中に「魂」を感じました。

校長からは、以下のお話をさせていただきました。

＜リーダーに必要なことについて＞

○みんなを「目標に導くこと」

ですので、目標を導くためには、何が必要なのか、

「自覚と責任」をもって、まずは自分で考え、そして役員や先生方と相談しながら頑張ってください。

○後輩を育て引き継ぎをしっかりとすること

ですので、後期になった際に、しっかりと後輩を育て、あるいは、次の人に引き継げるようお願いします。



＜リーダー以外の皆さんは、サポーター＞

○良い時も、よくない時も応援し、リーダーがいろいろ大変だったけど、みんなの支えがあって、やってよかったと思えるように協力することが大切です。

先日の体育祭では、見事な協力体制のもと、絆や団結力がアップしたと思います。良い伝統は引き継ぎ、委員長を支えてください。

そして、自分たちの学校を自分たちの力で良くしていくよう努力を重ねてください。

今後の生徒の皆さんに期待すること（中学校在学中とは限りません）

学校生活においてよく耳にする言葉の中に、「自主性」や「主体性」という言葉があります。辞書やネットで調べると、どちらも自分の意志で行動するという点では共通していますが、ニュアンスに違いがあるようですので、その違いを理解しましょう。

「自主性」とは、与えられた範囲内で、誰かに指示されなくても自ら進んで行動する姿勢を意味し、「主体性」とは、自らの判断で行動し責任もとることを指すようです。

言い換えると、「自主性」は、ある程度決まった枠組みの中で、自ら進んで行動する姿勢であり、「主体性」は、課題や目標を自分で考え行動していくこととなります。

学生時代に挑戦と失敗を繰り返す中で、最終的には、「主体性」を身につけてほしいと願っています。まずは、「自主性」、最終的に「主体性」を目標にしていくという心構えもいいかと思います。

言葉の意味の違いを知り、努力を重ねましょう。